

日本気象予報士会とは

【日本気象予報士会の活動】

1996年に全国の気象予報士が集まって「気象予報士会」を設立し、2004年に「日本気象予報士会」と改称、2009年に法人格を取得し、今では全国に支部組織を置く「一般社団法人日本気象予報士会」として活動しています。

幅広い年齢、さまざまな業種の方々から構成されており、気象予報士としての技能の研鑽・向上を図り、その知識を活かしての社会への貢献などを大きな目的として、気象関連機関や関係団体と連携しながら気象事業の振興・発展に寄与することを目指しています。

【主な事業内容】

- 気象予報士としての技能の研鑽・向上
- 民間気象ニーズに応じるための気象予報技術の研究開発
- 気象予報士の地位向上および気象予報士制度の改善に資する活動
- 気象・防災行政に対する支援
- 民間気象事業に対する支援および気象関連機関等との連携による気象事業の振興
- 防災・地球環境を含む気象知識の教育・普及、その他社会貢献活動
- 気象を通じての国際的活動
- 会員間の交流の活性化および会員に対する各種情報の提供など、会員活動の支援
- 会の活動基盤の拡充

【お問合せ先】

下記のお問合せフォームよりお問い合わせください。

<http://www.yoho.jp/contact/contact.php>

一般社団法人日本気象予報士会

(英語名称: CAMJ / Certified and Accredited Meteorologists of Japan)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-3-3 虎ノ門南ビル3階A